

取扱説明書

エンジン式薪割機

HG-MWR40T

ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みにになり、内容を理解してからお使いください。



組立て方法の
動画はコチラ



はじめに

このたびはプラッター草刈機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



警告

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



禁止

取扱においてその行為を禁止します。



指示

指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために



取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。
注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために



誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。下記を熟読しご理解してからご使用ください。また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

薪割機の安全に係る事項

警告

| | |
|--|---|
|  禁止 | <ul style="list-style-type: none">・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。・可動している部分の近くに手又は足を入れしないでください。・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上ご使用ください。・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。・成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。 |
|  指示 | <ul style="list-style-type: none">・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上ご使用ください。・本機の組立てや設置は2名以上で行ってください。・運転中は、排気ガスに十分注意してください。・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。・燃料がこぼれた場合は、直ちにふき取ってください。・燃料キャップは確実に締めてください。・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。・始動前点検を実施してください。・製品を搬送の際、積み込み、積み下ろしは二人以上で行ってください。 |

注意



| | |
|--|--|
|  禁止 | <ul style="list-style-type: none">・指定された用途以外には使用しないでください。 |
|  指示 | <ul style="list-style-type: none">・燃料はレギュラーガソリンを使ってください。・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。・部品交換は、純正部品を使用してください。・装置をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。・定期点検整備を行ってください。・子供の手の届かない安全な場所に保管してください。 |

安全にお使いいただくために



誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。下記を熟読しご理解してからご使用ください。また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

薪割機の作業に係る事項

警告

| | |
|---|--|
|  禁止 | <ul style="list-style-type: none">・身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。・刃部分に顔や手足を近づけないでください。・衣類や髪を可動部に近づけないでください。巻き込まれる可能性があります。・ご使用時は、子ども、動物、ペットを近づけないようご注意ください。・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。・2名以上で薪割り機を操作しないでください。・使用中に異常が発生した場合は、速やかにエンジンを停止し、異常原因を調べてください。損傷があった場合には、完全に補修した後でなければ薪割り機を再始動しないでください。 |
|  指示 | <ul style="list-style-type: none">・本体はしっかりとした硬い地面もしくは、下に鉄板などを敷いた水平な場所に設置してください。・騒音から耳を守る為、適切な保護具を使用してください。・装置から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。・割った木につまづかないように、機械の周辺は整理してください。・作業は、十分な採光のもとで作業してください。・ご使用前には各部のネジ類がしっかりと締まっているか確認してください。・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。 |

注意

| | |
|---|--|
|  禁止 | <ul style="list-style-type: none">・機械の稼働部分に絡まるような衣服は着用しないでください。・エンジンがかかっている状態で本製品から離れないでください。 |
|  指示 | <ul style="list-style-type: none">・すべりにくい靴、手袋、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。・装置を長時間保管するときは、取扱説明書にしたがって保管してください。・シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。・定期点検整備を行ってください。 |

主要諸元

| | |
|----------|------------------------------------|
| モデル名 | HG-MWR40T |
| 始動方式 | リコイル式 |
| 粉砕力 | 40トン |
| サイクルタイム | オートリターン15秒 |
| 最大薪割り長さ | 610mm |
| 薪割り可能 | 丸太直径 500mm |
| 薪割り方向 | 縦&横 |
| ウェッジ (刃) | 十字型4枚刃 |
| 馬力 | 15HP |
| 型式 | 空冷4サイクル |
| 燃料 | 無鉛レギュラーガソリン |
| | |
| | |
| エンジンオイル | ガソリンエンジン用オイルを1リットル入れてください。粘度10W-30 |
| 作動油 | # 32 18~20リットル入れてください |
| オイルポンプ圧 | 21Mpa |
| 質量 | 289kg |
| サイズ | 2250mm×1150mm×900mm |

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。



●STEP1 タイヤの取付け

作動油タンクAssyに、タイヤを取り付けます。

手順

- ①タイヤにエアリークが無いかを確認してください。
- ②タイヤシャフト から割りピン、ナット、ワッシャを取り外します。



- ③シャフトにワッシャ、タイヤ、ワッシャ、ナット、割りピンの順で取り付けます。

割りピンを曲げて抜けないようにします。



- ④ホイールキャップを取り付けます。



組立て

●STEP2 フレームスタンドの取付け

メインフレームにフレーム前スタンド、後スタンドを取付けます。

手順

- ①メインフレーム後スタンドに仮止めしているボルトを外します。
- ②「フレーム後スタンド」をメインフレームに取付けます。
- ③ボルトを通して、ナットがフレームに軽く接触する程度まで締めます。締めすぎると、スタンドが動きにくくなります。



組立て

●STEP3 シリンダAssyの取付け

シリンダAssyをメインスタンドに取り付けます。

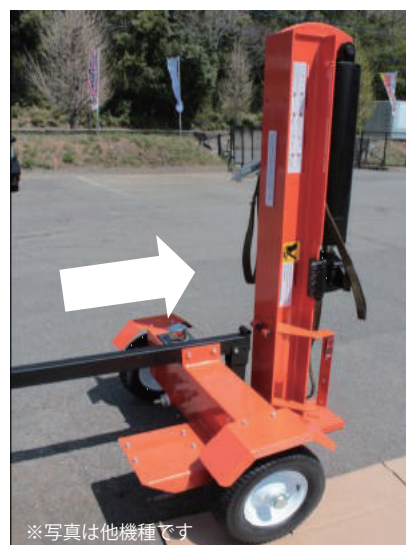
手順

⚠ 警告

- ・組立ては2人以上で行って下さい。
- ・重量物の運搬は、2人以上で行って下さい。
- ・組立て時は、手袋、長袖シャツなどの保護具を使用してください。

①シリンダAssyを立てます。 仮止めしている接続ピンを取り外します。

②メインフレームをゆっくりシリンダAssyに近づけます。



③シリンダAssyの接続穴とメインフレームの接続穴を一致させ、接続ピンを通して、Rピンでとめます。



組立て

●STEP4 シリンダAssyガイドの取付け

シリンダAssyガイドをシリンダAssyに取付けます。

手順

- ①シリンダAssyガイドを準備し、仮止めしているボルトを外します。
- ②シリンダAssyガイドをシリンダAssyの取付け穴に合わせ、外したボルトでしっかり止めます。



組立て

●STEP5 エンジンと油圧ポンプの取付け

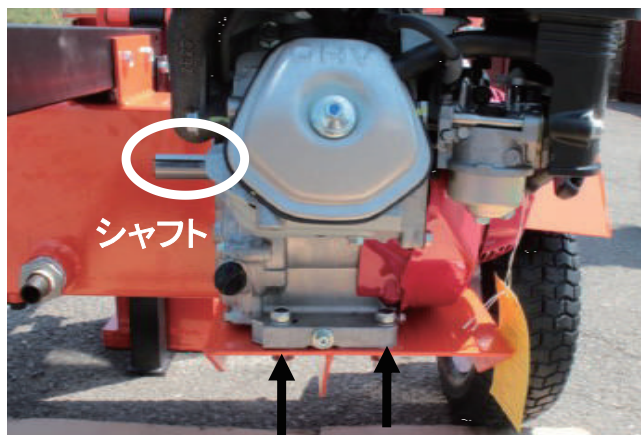
エンジンを作動油タンクAssyに取り付けます。

手順

①エンジンを準備します。

②エンジンを作動油タンクAssyに4本のボルトで固定します。

シャフトの向きに注意してください。



⚠ 警告

- ・組立ては2人以上で行って下さい。
- ・重量物の運搬は、2人以上で行って下さい。
- ・組立て時は、手袋、長袖シャツなどの保護具を使用してください。

組立て

●STEP6 エンジンと油圧ポンプの取付け

エンジンに油圧ポンプをAssyし、本体に取り付けます。

手順

- ①油圧ポンプを準備します。
- ②油圧ポンプの一番外側についているカプラの六角ネジを緩めて抜き取ります。
- ③ポンプに一番近いカプラの六角ネジを緩めておきます。



- ④キーをエンジンシャフトの溝にはめ込みます。



- ⑤油圧ポンプから外したカプラをエンジンのシャフトに挿入、エンジンシャフトの端とカプラの面が一致する位置まで、差込ます。



- ⑥ゴムカップラの中心が凹んでいる方がポンプ側になるようにはめ込みます。

- ⑦六角ネジの締め付けを行います。



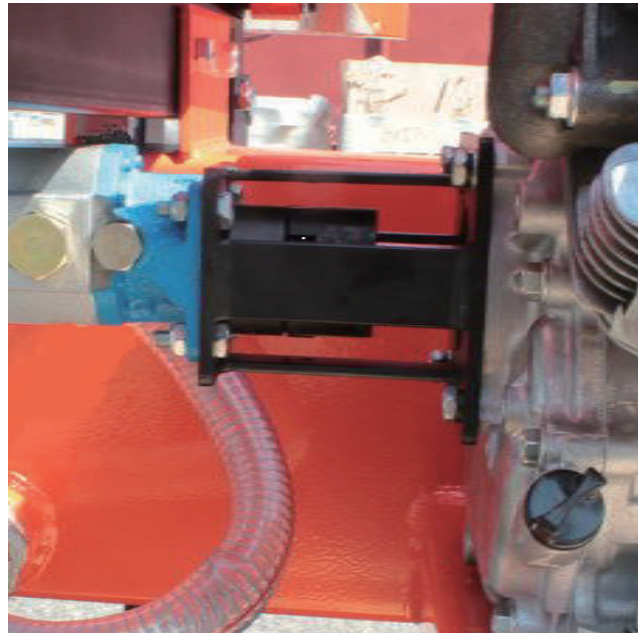
組立て

●STEP7 エンジンと油圧ポンプの取付け

エンジンに油圧ポンプをAssyし、本体に取り付けます。

手順

- ⑧油圧ポンプをL型配管口の方向に注意してエンジンに取り付けます。
- ⑨4箇所をボルトを均等に軽く締めます。
- ⑩リコイルを数回引っ張り、油圧ポンプが軽く回る事を確認してください。
- ⑪固い場合、油圧ポンプの取付けボルトを少し緩め、上記の作業を行います。
- ⑫4箇所をボルトを均等にしっかり締めます。
- ⑬油圧ポンプ側のカプラの六角ボルトをしっかり締めます。



組立て

●STEP8 コントロールレバーの取付け

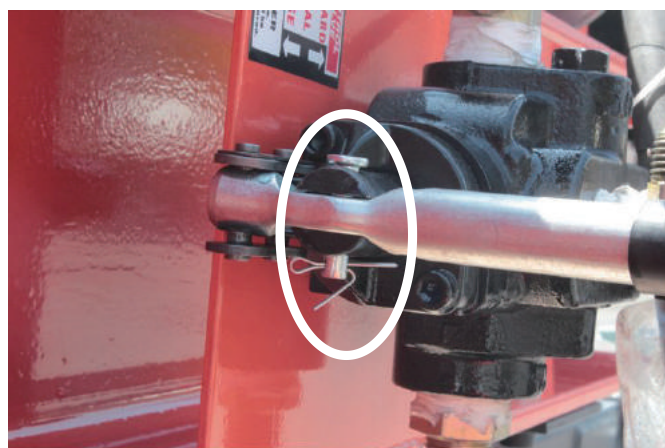
コントロールレバーをコントローラに取付けます。

手順

- ①コントローラに仮止めしている接続ピンを一旦抜きます。



- ②レバーの取り付け穴とコントローラの取り付け穴を一致させ、接続ピンを挿入し、割りピンでとめます。



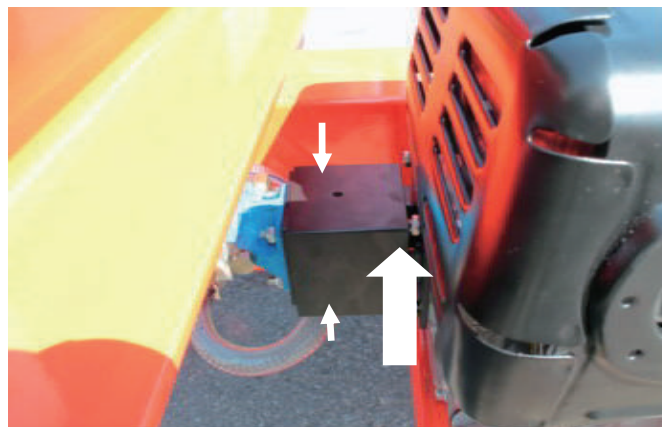
組立て

●STEP9 油圧オイルポンプカバーの取付け

油圧オイルポンプのカバーを取付けます。

手順

- ①オイルポンプカバーを準備します。
- ②両側からボルトでしっかり止めます。



⚠ 警告

- ・カップリング部は回転しています。必ずカバーを取り付けて運転して下さい。
- ・手や衣服など触れないよう注意してください。巻き込まれによる受傷事故・死亡事故の恐れがあります。

⚠ 注意

一度取り付けますが試運転後に取り外し、カップリング部に異常がないことを確認して再度取り付けてください。(カバーがない状態での運転は絶対にやめて下さい。)

組立て

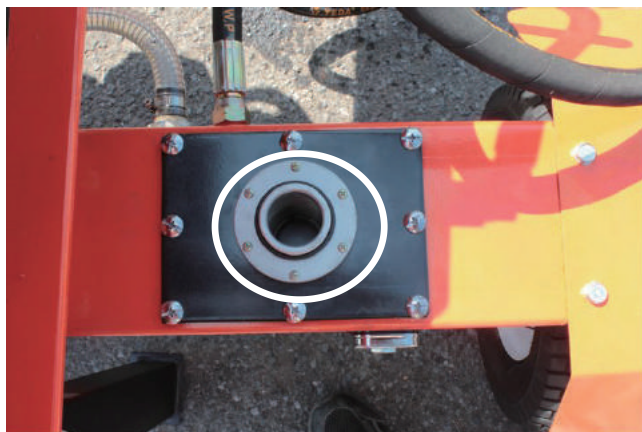
●STEP10 作動油の給油

作動油タンクに作動油を給油します。

手順

- ①タンク上部のキャップを取り外し
作動油(油圧用オイル32番)を給
油します。

容量はおおよそ20ℓとなります。



⚠ 注意

挿入前にタンク底部にあるドレンボルトが緩んでいないか必ず確認してください。

組立て

●STEP11 エンジンオイルの給油

エンジンにエンジンオイルを給油します。

手順

- ①エンジンについているオイルキャップを取り外しエンジンオイルを給油します。

容量はおおよそ1.0ℓとなります。



推奨オイルは4サイクルガソリンエンジン専用 100%化学合成油
粘度は10W-30です。))
※寒冷地は5W-30、極寒冷地は0W-30を推奨します。

組立て

●STEP12 燃料の給油

無鉛レギュラーガソリンを給油します。

手順

- ①燃料タンク内にガソリン(無鉛レギュラーガソリン)を給油します。



⚠ 警告

- ・運転中、またはエンジンがまだ熱い時に、ガソリンを注入しないでください
- ・ガソリンの給油は室外で行って下さい。
- ・点検、整備を行うときは、エンジンを停止してください。
- ・換気の良い場所で行って下さい。
- ・火気を近づけないでください。
- ・静電気を除去してから給油してください。
- ・燃料はこぼさないように補給してください、万一こぼれたときは完全にふき取って下さい。
- ・燃料は注入口の口元までいれず給油限界位置を超えないように補給して下さい。

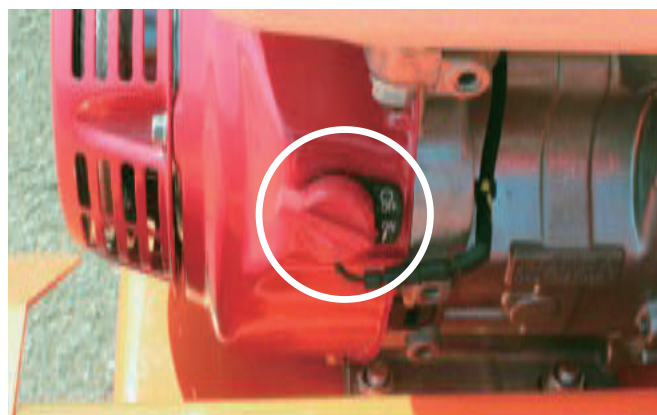
⚠ 注意

- ・補給時、燃料タンク内に水、雪、氷が入らないように注意してください。
- ・ハイオクガソリンは使用しないでください。

運転操作の仕方

●エンジンのかけかた

1. ②のレバーでエンジンの回転数を中間にします。
2. ③のガソリンコックを右いっぱい(ON)にします。
3. ④のチョークつまみを左いっぱいにします。
4. エンジンキーをONにします。
5. リコイルスターターを引きます。
6. エンジンを起動後、運転状況を確認します。
7. 異常がなければ④チョークつまみを右にします。
8. 暖気運転を行います。



⚠ 警告

エンジン停止直後に、マフラー及び周辺パーツはまだ非常に熱いため、やけどの恐れがあり、触らないようご注意ください

運転操作の仕方

●エンジンのとめかた

①エンジンスイッチをOFFにします。



②ガソリンコックを左にします。

警告

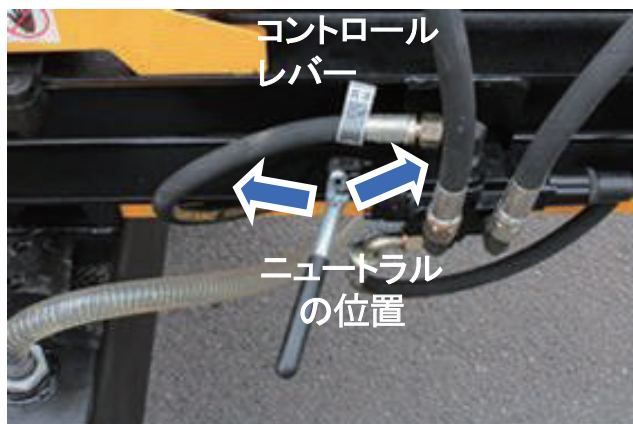
エンジン停止直後に、マフラー及び周辺パーツはまだ非常に熱いため、やけどの恐れがあり、触らないようご注意ください

運転操作の仕方

●コントロールレバーの操作方法

薪割りの操作は、コントロールレバーで行います。

コントロールレバーの操作



コントロールレバーを前進方向に倒すと、刃も前進します。
コントロールレバーから手を離すと、コントロールレバーはニュートラルの位置にもどり、刃はその状態で停止します。

コントロールレバーを前進方向に倒し続け、刃が置き台より、約2cmまで近づくと刃の前進は自動的に停止します。

コントロールレバーを後進方向に倒すと、刃も後進します。
コントロールレバーから手を離しても、刃は後進を続け、一番後進した状態で停止します。

刃の後進動作を中断させるときは、操作レバーをニュートラルにします。刃は後進動作を停止します。

警告

操作は2名以上で行わないで下さい。やむを得ず2名以上、複数での作業時は、声かけを行い互いが全員の安全に注意して行って下さい。

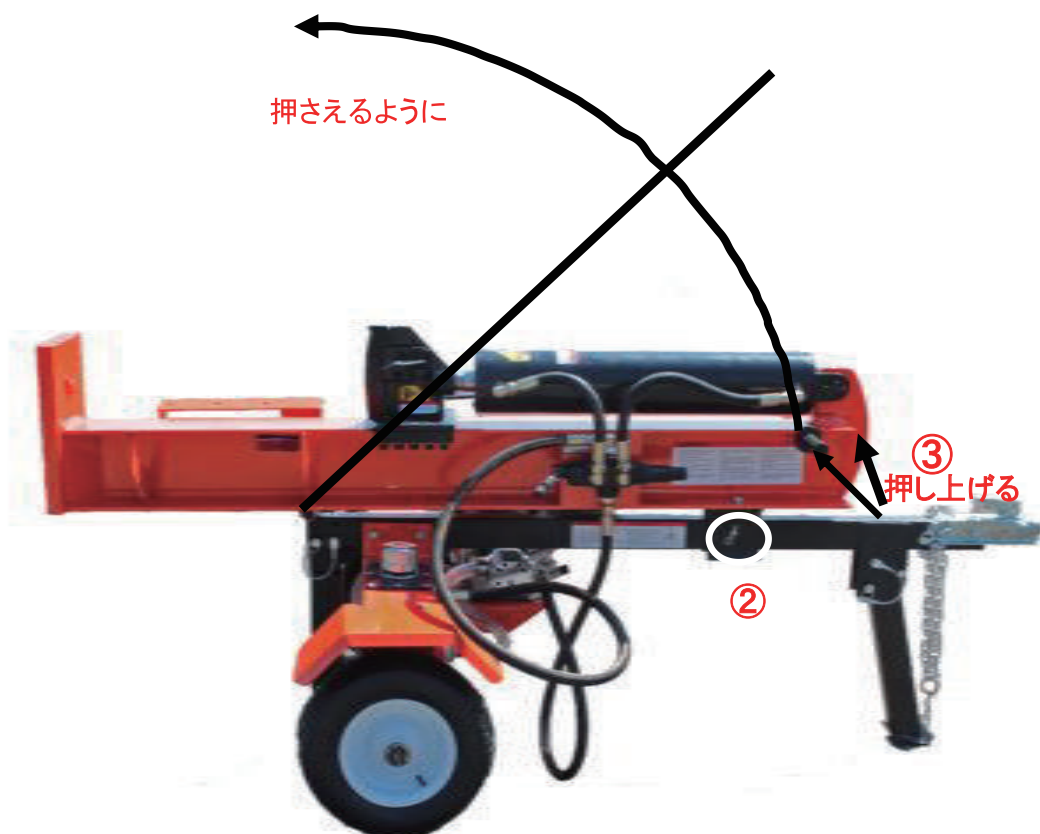
運転操作の仕方

●シリンダを立てる操作

⚠ 警告

- ・操作は2人以上で声をかけあって行って下さい。
- ・平坦で固い地面に薪割り機を設置してください。

- ①フレーム後スタンドを立て、接続ピンを差込み、Rピンでとめてください。
- ②メインフレームとシリンダAssyガイドを通してある接続ピンのRピンを外し、抜きます。
- ③ハンドルを持ち上げ、ゆっくり起こしていきます。このとき、H形鋼の上部フランジ部分も合わせて手を添え押し上げるようにします。ハンドルの移動に合わせて、支えている体も少しずつ移動させます。ハンドルを約45°まで起こした以後は、ハンドルが跳ね上がる向きに力が変わるので、ハンドルを押さえるような体制をとります。
- ④シリンダが直立するまでゆっくり起こします。



運転操作の仕方

●シリンダを横にする操作

⚠ 警告

- ・操作は2人以上で声をかけあって行って下さい。
- ・平坦で固い地面に薪割り機を設置してください。
- ・シリンダ Assy とメインフレームの間に手や指を挟まないように注意してください。

- ①ハンドルを押し下げ、ゆっくり倒していきます。
ハンドルの移動に合わせて、支えている体も少しずつ移動させます。
ハンドルを約45°まで倒した以後は、ハンドルに重みが増してきます。このとき、H形鋼の上部フランジ部分も合わせて支えるようにします。(H形鋼の下部フランジやシリンダ Assy ガイドを持つと手や指が挟まれ大きな事故になりますので絶対持たないで下さい。)
- ②シリンダが水平になるまでゆっくり倒します。
- ③メインスタンドとシリンダ Assy ガイドをとめている接続ピンを差込み、Rピンを入れ



運転前の点検

●燃料の点検

燃料(無鉛ガソリン)の量を点検します。

- ・燃料タンクキャップを外し、液面を見て残量を確認します。
- ・少ないときは上限の位置まで補給してください。

補給のしかた

使用燃料 自動車用無鉛ガソリン
(レギュラーガソリン)

補給後、給油キャップを確実に閉めてください。



⚠ 警告

- ・運転中、またはエンジンがまだ熱い時に、ガソリンを注入しないでください
- ・ガソリンの給油は室外で行って下さい。
- ・点検、整備を行うときは、エンジンを停止してください。
- ・換気の良い場所で行って下さい。
- ・火気を近づけないでください。
- ・静電気を除去してから給油してください。
- ・燃料はこぼさないように補給してください、万一こぼれたときは完全にふき取って下さい。
- ・燃料は注入口の口元までいれず給油限界位置を超えないように補給して下さい。

⚠ 注意

- ・補給時、燃料タンク内に水、雪、氷が入らないように注意してください。
- ・ハイオクガソリンは使用しないでください。

運転前の点検

●エンジンオイルの点検

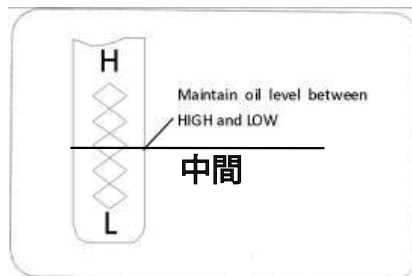
エンジンオイルの量、よごれを確認します。

- ①車体を水平な場所に移動させます。
- ②オイル給油キャップを外します。
- ③オイルゲージの上端までオイルがあるか点検してください。
- ④オイル量が少ないときは、新しいオイルを補給してください。

推奨オイル SAE 10W-30
オイル容量 約1.0 ℓ



オイルゲージ



●タイヤの点検

点検時期 作業を始めるとき

点検のしかた

- ・目視にて破損や亀裂が無いかを確認して下さい。
パンク、亀裂が見つかった場合は、修理または新品と交換して下さい。
- ・タイヤの空気圧を確認して下さい。
空気圧は1.5kgf/cm²(150Kpa)になります。

⚠ 警告

タイヤのパンクは重大な人身事故を引起す恐れがありますので、十分にご注意ください。

薪割り作業の操作要領

⚠ 警告

- ・安全注意事項に注意しながら薪割り機を操作してください。
- ・エンジン回転中には絶対に薪割り機を離れないでください。
- ・エンジン回転中には薪割り機を移動しないでください。
- ・商品荷降し及び開梱の際は十分に気を付け下さい。商品本体及び各部パーツは非常に重いため、フォックリフトフォークリフトなどの運搬道具を使って行って下さい。
- ・安全靴を履いて下さい。
- ・保護メガネも忘れずにかけて下さい。
- ・作業のしやすい服を着用して下さい。ネックレス、不適切な服装などは薪割り機の稼動部分に巻き込まれやすいため危険です。
- ・平坦で、固い地面に薪割り機を設置してください。
- ・万が一薪割り機が動き出すのを防ぐため、タイヤを常に輪止めなどで固定して下さい。
- ・長い薪は割る前に適切な長さに切って下さい。
- ・昼間または視界の良い明るいところで作業して下さい。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。

⚠ 警告

- ・ガソリンが蒸発しやすく、非常に燃えやすいため、ガソリンの保管及び使用は十分に気を付けて下さい。
- ・ガソリン補給時に手及び作業服に付いた場合は、すぐ水で洗って下さい。
- ・密閉した部屋でガソリン補給はしないでください。
- ・エンジン運転中、またはストップ直後に温度まだ高い場合にガソリン補給はしないでください。
- ・エンジンストップしてから☒なくとも5分間以上を経ってから、ガソリン補給を行います。
- ・燃料タンク容量以上にガソリン補給はしないでください。
- ・燃料タンクキャップを常にしっかり締めて下さい。
- ・ガソリンが地面に漏れた場合は、薪割り機表面のガソリンをきれいに拭いて、ほかのところに薪割り機を移動して、5分待ってから作業スタートして下さい。
- ・ガソリン保管は火気、電気機械、燃えやすい物と離れて保管して下さい。

薪割り作業の操作要領

●試運転

エンジンをかけ、刃を動かしてみます。

- ① 運転操作のしかたを十分理解してください。
- ② 運転前の点検をしてください。
- ③ 薪割り作業の操作要領を十分理解してください。
- ④ 警告事項を読み必ず守ってください。

- ⑤ 平坦で固い地面に薪割り機を設置し、タイヤに輪止めをかけてください。
- ⑥ 操作要領にしたがってエンジンを始動します。

- ⑦ 油圧システム中の気泡を排出させるため、コントロールレバーで刃を最上限から最下限まで移動させ、この動作を15回繰り返して下さい。これによって、作動油が油圧システム全体に均等に行き渡ります。
- ⑧ 各部からの油もれを点検してください。
- ⑨ 各部のネジの緩みを点検し、緩みがあれば増し締めを行って下さい。

薪割り作業の操作要領

●薪を割る操作要領

平坦で固い地面に薪割り機を設置し、タイヤに輪止めをかけてください。

- ①薪を本体に置きます。
- ②コントロールレバーを刃が出る方向へ倒すと、その間刃が前進します。
- ③刃が前進し、薪を割ります。
- ④薪が割れたところでコントロールレバーから手を離すとコントロールレバーはニュートラルにもどり、刃の前進は止まります。
- ⑤コントロールレバーを倒し続けても、刃が底板から約3cmの位置で自動的に停止します。
- ⑥コントロールレバーを、刃が戻る方向に倒します。刃が戻り始めます。
- ⑦コントロールレバーから手を離しても刃は戻り続け、ピストンがシリンダに格納された状態まで戻った時点で停止します。
- ⑧効率的に薪を割るには、次に割る薪の高さまで刃が戻ったところで、コントロールレバーをニュートラルの位置に戻し、刃の上昇を止めます。
- ⑨次の薪を本体に置きます。上記の作業を繰り返します。



薪割り作業の操作要領

●快適に薪割りを行うために

- ・玉切り直後で小口の湿っている間が割りやすく、乾くと割りにくくなっていきます。
- ・うまく割れないときは、薪の置き方を変えて作業してください。
- ・節がある場合は、刃に節があたらないように薪を置く事で、薪が割れやすくなります。
- ・薪の材質、高度によっては、割れにくい場合があります。
- ・薪が小さすぎる時は、ほかの木片で固定させ、割って下さい。
- ・薪の切断面がデコボコの時は、できるだけ比較的平坦な切断面を地面に向けて置き、デコボコの切断面を刃に向けて置いて下さい。
- ・縦姿勢で薪を割る時には、薪が揺れないようしっかり置いてください。

⚠ 注意

- ・もし割れない場合、3秒以上加圧し続けしないでください。
それ以上、加圧し続けると、装置に大きな力が加わり、シリンダAssyが損傷、湾曲する恐れがあります。
- ・割りにくいときは、刃を年輪に対して接線方向にかける、刃の1/3ほどかけるなど、刃の入れ方を変えてください。

⚠ 警告

- ・常に丸太の切断面ではなく、側面を持つ習慣を付けて下さい。
- ・足で丸太を固定するのも絶対にやめて下さい。
圧力が非常に大きいため、重傷を負う可能性があります。
- ・薪を置く人が薪割り機を操作してください。
- ・一回に二つの薪を同時に割ることはしないでください。
- ・薪にヒビ入っているところに絶対に指を置かないで下さい。

点検・整備の仕方

警告

- ・油圧ポンプには非常に高い圧力を持っているため、衝撃などの原因によりヒビ、小穴などを起こした場合は、高圧力のオイルが噴出し、使用者が死亡または重傷を負う可能性がありますので、以下の操縦注意事項を常にご注意ください。
 - a. 裸手で直接機械パイプなどの検査をおやめ下さい。
 - b. ホース、チューブ、接続具に摩耗、曲れ、ヒビ、ダメージなどがあった場合は、必ず使用を停止して下さい。
 - c. ホース、チューブ、接続具など機械各部のパーツを交換調整するときは、必ず先にエンジンをストップしてから行って下さい。
 - d. ポンプ、またはバルブを調整し、薪割り機の圧力を調整するのは絶対におやめください。
 - ・漏れ検査するときは、保護手袋、保護メガネをかけて、カートンボックスなどを使って、漏れと疑われるところに置いて、変色、汚れがあるかを検査して下さい。
 - ・万が一、漏れ油圧で負傷した場合、迅速・適切に医師の診断を受けてください。
 - ・作業場の清潔、安全を常に確保して下さい。足を引っかける一切の障害物を撤去して下さい。
 - ・薪割り機の作業場には必ず清潔、安全を守って下さい。木材、ガラス、燃料など燃えやすい物は必ず離して保管して下さい。
 - ・エンジンキーを抜き安全を確保し作業を行って下さい。
 - ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめて下さい。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
 - ・本体はしっかりとした水平な場所に設置して下さい。
 - ・作業は、十分な採光のもとで作業して下さい。
 - ・排気ガスには十分に注意し、換気の良い場所で行って下さい。
 - ・火気を近づけないでください。
-
- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行って下さい
 - ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

点検・整備の仕方

●燃料系の点検・メンテナンス

燃料タンクのカソリン、キャブレターのガソリンを抜きます。
ガソリンを受ける容器を用意してください。

1.燃料タンクのキャップを外し、タンク内の燃料を抜きます。

2.①ガソリンコックをONにします。



3.②部分の斜めについているボルトを緩めて、ガソリンを容器にうけます。
キャブレターの燃料を抜くことができます。

③のボルトは絶対に緩めないで下さい。

4.緩めたボルトは、必ずしっかり締めて下さい。



⚠ 警告

- ・こぼれたガソリンは布などで、直ちにふきとってください
- ・緩めたボルトは、必ずしっかり締めて下さい。 ガソリンがもれると引火の危険があります。
- ・こぼれたガソリンは布などで、直ちにふきとってください

点検・整備の仕方

●作動油のメンテナンス

◆作動油の交換

交換時期

作動油は、100時間おきか、または1年に1回行ってください。

交換方法

- ・廃油受けを準備します。
- ・作動油Assyの底にあるドレインボルトを緩めます。
- ・作動油が排出されます。
- ・排出が終わりましたら、ドレインボルトを締めます。
- ・作動油Assyのオイルキャップをあけます。
- ・ごみや水分など異物が混入しないように入れます。

| | | |
|-------|--------|-----|
| オイル規格 | ISO VG | 32番 |
| オイル容量 | | 20L |



◆作動油の動作温度

作動油の粘度は、温度が上昇するほど低くなります。温度が上昇し過ぎた場合は、油の潤滑性が悪くなり、劣化を促進したりポンプ効率が悪くなります。作動油の使用温度は+70℃の範囲内でご使用ください。

点検・整備の仕方

●エンジンオイルの給油、点検

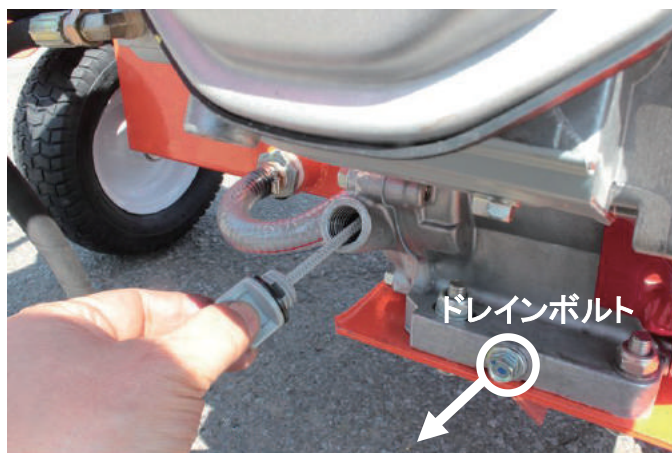
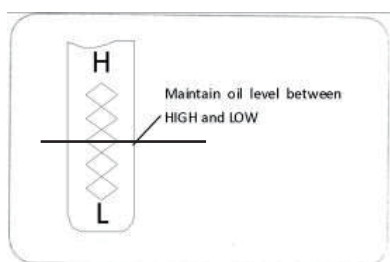
交換時期 初回20時間以降、50時間ごと

推奨オイル 使用オイル SAE 10W-30

規定量 1.0L

交換のしかた

1. 機械を水平な場所で水平な状態にします。
2. オイル受けを用意してください。
3. オイル給油キャップ、ドレインボルトを外してオイルを抜きます。ドレインパイプと一緒に回らないように、パイプを押さえながら、ドレインボルトを回します。
4. オイルが抜けたらドレインボルトを確実に締めます。
5. 新しいエンジンオイルをレベルゲージの上限まで入れます。
6. 注入後、オイル給油キャップを締めます。



長期間使用しない時

薪割り機を長期に渡り使用しないときは、次の手入れを行ってください。

警告

- ・エンジンキーを抜き安全を確保し作業を行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめて下さい。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。

注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

- 1.保管するときは、平坦な地面に止めをしてください。
- 2.燃料タンク、キャブレターの燃料を抜きます。
- 3.燃料タンクの口にある、燃料ろ過カップを清掃します。
- 4.各部ボルトの破損、腐食、緩みの点検をします。
- 5.防錆、給油を行います。

故障と思ったら

機械が故障と思われるときは、まずご自身で下表を参考に点検・修理を行ってください。

●エンジンがかからない

| 症状 | 原因 | 対処 |
|-----------------|---|---|
| 点火プラグに火花が出ていない | ①始動スイッチボタンの不良、 ②スパーク・プラグ不良 ③スパーク・プラグ・キャップ接続不良 ④イグニッションコイルの不良 ⑤イグニッションに関する配線不良 | 交換 交換 調整 交換 正しく接続 |
| キャブレターに燃料が来ていない | ①燃料がはいっていない ②燃料コックが閉じている ③燃料ホースの詰まり、漏れ ④燃料タンク錆びまたは、異物混入による詰まり | 燃料を入れる コックを開く ホース清掃、交換 交換、フィルタ清掃 |
| エンジン内に燃料が来ていない | ①キャブレター詰まり(ニードル・バルブ膠着) | キャブレター分解掃除 |
| エンジンがとまらない | ①キーボックスの取付けブラケットのアース不良 | 取付けブラケットの接地を良くする |

故障と思ったら

| 現象 | 原因 | 対処 |
|---------------|--|---|
| シリンダー動かない | <ol style="list-style-type: none"> 1. 駆動シャフト壊れた. 2. プラグが液圧ホースの中に落ちた 3. シリンダーボルトが緩んだ 4. シャフト位置ずれた 5. ギア損傷 6. 安全バルブ損傷 7. 液圧オイルパイプ汚れまたは破損 8. 液圧オイル不足 9. 方向バルブ損傷 10. 方向バルブ塞がれた | <ol style="list-style-type: none"> 1. メーカーとコンタクト 2. 液圧ホースの片側をはずし、プラグを取出し、ホースを戻す。 3. メーカーとコンタクト 4. エンジン/ポンプ/シャフト位置を調整 5. メーカーとコンタクト 6. メーカーとコンタクト 7. 液圧システムをクリーニング、パイプ交換 8. オイル補給 9. メーカーとコンタクト 10. 液圧システムクリーニング |
| シリンダー伸縮スピード遅い | <ol style="list-style-type: none"> 1. ギア損傷 2. 真空ポンプ汚れ 3. エンジンスピード遅い 4. 真空ポンプ破損 5. オイル不足 6. オイル汚れた 7. 方向バルブオイル漏れ 8. シリンダー内部損傷 | <ol style="list-style-type: none"> 1. メーカーとコンタクト 2. 直径太い、長さ短いホースをご使用下さい。ホースを常に清潔にして下さい。 3. メーカーとコンタクト 4. メーカーとコンタクト 5. オイル補給 6. オイルタンクを清掃 7. メーカーとコンタクト 8. メーカーとコンタクト |
| 薪割りスピード遅い | <ol style="list-style-type: none"> 1. ギア損傷 2. ポンプバルブオイル漏れ 3. 真空ポンプ汚れ 4. オイル不足 5. オイル汚れ 6. バルブ内部オイル漏れ 7. 丸太が硬すぎ 8. シリンダー内部損傷 | <ol style="list-style-type: none"> 1. メーカーとコンタクト 2. メーカーとコンタクト 3. 真空ポンプホースを清掃 4. オイル補給 5. オイルチェンジ 6. メーカーとコンタクト 7. 定額出力を超えない範囲内で、薪を選択してください。 8. メーカーとコンタクト |

故障と思ったら

| 現象 | 原因 | 対処 |
|-------------------|---|---|
| 薪割り時にエンジンストップ | <ol style="list-style-type: none"> 1. エンジン出力不足 2. 薪が硬すぎ 3. ガス欠 | <ol style="list-style-type: none"> 1. メーカーとコンタクト 2. 定額出力を超えない範囲内で、薪を選択してください。 3. ガソリンの補給 |
| エンジン突然停止 | <ol style="list-style-type: none"> 1. エンジン/ポンプ故障 2. 低温でポンプ凍結 3. エンジン出力不足 4. 液圧オイル漏れ 5. バルブは汚れで塞がれた 6. ガス欠 | <ol style="list-style-type: none"> 1. メーカーとコンタクト 2. メーカーとコンタクト 3. メーカーとコンタクト 4. 液圧システム清掃 5. 液圧システム清掃 6. ガソリンの補給 |
| ポンプシャフト密封シールオイル漏れ | <ol style="list-style-type: none"> 1. シャフト破損 2. エンジン/ポンプ故障 3. ギア破損 4. 密封シール位置ずれた 5. オイル通風口塞がれた | <ol style="list-style-type: none"> 1. メーカーとコンタクト 2. メーカーとコンタクト 3. メーカーとコンタクト 4. メーカーとコンタクト 5. 清掃する |

本規約は、ハイガー産業株式会社(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない可能性がございます。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
 - (11) 機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
 - (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
 - (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーペン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡いただきたく存じます。
またはお近くの修理協力店へご連絡くださいませ。
症状・使用状況を伺い、お手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料や水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合がございます。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただく場合がございます。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する場合がございます。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しできない場合がございます。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
- ・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料は全てお客様のご負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガー産業または販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。
②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。



⑤お見積り提示。
⑧送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様



①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理^{*1}か、引取り修理^{*2}か、出張修理^{*3}かを相談させていただきます。



⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認
- ④故障装置の修理

*1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

■保証適用について■

- ・本商品が対象となります。
- ※ただし、以下の場合は保証適用外となります。
- ・お客様のメンテナンス・確認不足等によるもの。
- ・人為的による破損等。
- ・運送会社など、第三者により生じた支障。
- ・弊社が故意・過失・他、正常のご使用に反して生じたと判断する全ての支障。

■保証期間について■

- ・商品が出荷された日・お渡し（ご来店時）から1年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。

◎詳細は「保証内容について」ページをご確認ください。

■初期不良について■

- ・初期不良期間は、ご使用回数に関係なく到着日から1週間とさせていただきます。
- ・商品受領後、1週間以内にご連絡ください。
- ※無償修理又は無償交換のいずれかを弊社判断にて、ご対応させていただきます。
- ・修理協力店にご依頼の際は、修理工賃・部品代・送料は当社が負担させていただきます。

■消耗品について■

- ・消耗品につきましては、初期不良以外はすべて有償となります。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

- お問い合わせ先
ホームページお問い合わせフォーム:<http://www.haigeshop.net/contact>
ハイガー産業お問い合わせ 検索

TEL:0276-55-2275 FAX:0276-55-2276

販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。

販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

オフィシャルサイト▶<http://www.haige.jp/agency.html>

本店サイト▶<http://www.haigeshop.net/new/2015-07-02-113023.html>

楽天サイト▶<http://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/after.html>

ヤフーサイト▶<https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

ハイガー産業 株式会社

〒370-0503 群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3

<http://www.haigeshop.net/>

本取扱説明書を熟読しても、弊社のサイトや動画等を見ても、問題が解決しない場合は、お手数ですが下記までお問い合わせください。その際、迅速なご対応ができるよう「お問い合わせ件名」を必ずお伝えください。
件名：「初期不良」「1年保証内故障」「1年保証外故障」「使用方法」「その他」

お問い合わせ

ホームページお問い合わせフォーム:<http://www.haigeshop.net/contact>

TEL. 0276-55-2275 FAX. 0276-55-2276

※平日12:00～13:00はお電話は繋がりません。

※スタッフ一同、迅速・丁寧な対応を心がけておりますが、季節商品等お問い合わせが集中する時期は、電話が繋がりにくくなったり、折り返し対応や折り返しのご連絡が遅くなる場合がございます。誠に恐れ入りますが、順次対応いたしますのでお待ちいただけますようお願い申し上げます。

お急ぎのご用件でなければ、ホームページお問い合わせフォームよりご連絡をいただけますと幸いです。

FAXは24時間受付ておりますが、営業時間外や弊社休業日にいただいたお問い合わせに関しましては、翌営業日以降に順次対応させていただきます。ご了承ください。

◎営業時間：10:00～17:00(第1・3・5土曜日は12:00まで) ◎定休日：日曜、祝日、第2・4土曜日

